

Mizuho Daily Market Report

2024/6/24

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	158.79	159.80	+0.87	+2.40
EUR	1.0679	1.0693	▲0.0009	▲0.0010
AUD	0.6649	0.6641	▲0.0015	+0.0026
SGD	1.3547	1.3549	+0.0005	+0.0017
CNY	7.2612	7.2610	+0.0006	+0.0053
MYR	4.7155	4.7127	+0.0032	▲0.0080
THB	36.68	36.66	▲0.12	▲0.11
IDR	16458	16450	+20	+50
PHP	58.84	58.82	+0.04	+0.16
INR	83.55	83.54	▲0.11	▲0.02
VND	25455	25456	+4	+6

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.255%	▲0.4 bp	+3.4 bp
日本(10年)	0.975%	+1.8 bp	+3.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.412%	▲1.9 bp	+5.2 bp
オーストラリア(5年)	3.941%	▲0.2 bp	+8.8 bp
シンガポール(5年)	3.172%	▲0.9 bp	+0.5 bp
中国(5年)	2.032%	+1.0 bp	▲2.5 bp
マレーシア(5年)	3.642%	▲0.1 bp	▲1.3 bp
タイ(5年)	2.464%	▲1.9 bp	▲2.6 bp
インドネシア(5年)	7.046%	+1.0 bp	▲5.3 bp
フィリピン(5年)	6.396%	▲0.2 bp	+3.9 bp
インド(5年)	7.000%	+0.0 bp	▲0.9 bp
ベトナム(5年)	2.100%	+0.0 bp	▲3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,150.33	+0.0%	+1.5%
N225(日本)	38,596.47	▲0.1%	▲0.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,907.30	▲0.8%	+1.4%
ASX(オーストラリア)	4,490.92	▲0.4%	+1.2%
FTSE(シンガポール)	3,306.02	+0.2%	+0.3%
SSEC(中国)	2,998.14	▲0.2%	▲1.1%
SENSEX(インド)	77,209.90	▲0.3%	+0.3%
JKSE(インドネシア)	6,879.98	+0.9%	+2.2%
KLSE(マレーシア)	1,590.37	▲0.1%	▲1.1%
PSE(フィリピン)	6,158.48	▲2.9%	▲3.5%
SETI(タイ)	1,306.41	+0.6%	▲0.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,282.02	▲0.0%	+0.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	293.22	▲0.7%	▲0.3%
金	2,321.98	▲1.6%	▲0.5%
原油(WTI)	80.73	▲1.8%	+2.9%
銅	9,547.61	▲1.8%	▲0.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	158.50	—	160.50
EUR/USD	1.0590	—	1.0750
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.2780
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16500
USD/PHP	56.70	—	59.30
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は158円台後半でオープン。朝方には神田財務官から「為替に過度な変動があれば適切な対応取ることには変わらない」とのけん制発言があるも円買いは限定的。仲値にかけてドル買い優勢の展開となり節目の159円を突破すると、一時約2か月ぶりの水準まで上昇した。その後は介入警戒感から158円台後半まで反落するも底堅い推移が続き、海外に渡った。アジア通貨は対ドルで軟調推移。インドネシアは2020年4月上旬以来の安値に下落した。

欧州時間では弱い欧州の経済指標を受けたユーロ円の売りに追随しドル円が下落する場面も見られたが、その後は下げ祭り158円台後半でNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、米6月製造業、サービス業PMIが共に予想を上回ったことからドル円は159円台前半まで上昇する。続いて発表の米5月先行指数は予想を下回ったものの、同時に発表の中古住宅販売は住宅ローンが5月の初めの週に再上昇したことを背景に低調ではあるものの、若干予想を上回り、欧州比良好なPMIの結果が材料視されたこともあり、159円台後半まで上昇する。午後は、週末を控え159円台半ば付近での閑散な推移が続き、終盤に掛けて特段のニュースは見当たらない中結局159円台後半まで上昇し、クロースした。

【金利】

前週末の米金利は横ばい推移。朝方は欧州国債利回りの低下につられ米金利も低下する場面が見られたが、堅調な米経済指標の発表を受け水準を戻し、結局10年債利回りは前日比ほぼ変わらずの水準でクロース。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。神田財務官による円安牽制発言もあったことから、160円の節目が近づいている中で為替介入に対する警戒感が高まっている状況。円安方向への動きは限定的となり、慎重な値動きとなることが想定される。

【本日の予定】

(日本) 5月 全国百貨店売上高 / 東京地区百貨店売上高
(日本) 日銀 主な意見
(日本) 輪番 1-3y, 3-5y, 5-10y
(アジア) 1Q インド 国際収支: 経常収支
(アジア) 5月 NZ 貿易収支
(アジア) 5月 シンガポール CPI
(アジア) 5月 タイ 貿易収支
(アジア) 5月 韓国 小売売上高 / 百貨店売上高 / デイスクウントストア売上高
(欧州) 5月 独 輸入物価指数
(欧州) 6月 独 IFO企業景況感指数
(欧州) EU外相理事会(ルケゼブルク)
(欧州) 独 国債入札(6M, 12M)
(米国) 6月 ダラス連銀製造業活動
(米国) ウォラーFRB理事講演
(米国) デイリー・サンフランシスコ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。